



研 究 紀 要 1

千葉県文化財センター



J00010050

千葉県文化財センター



序 文

本県においては、最近とみに先土器時代の遺跡が各所で発見され、先土器時代文化の資料が増加の一途をたどっております。

そこで、県教育委員会は本年度、先土器時代から歴史時代に至る千葉県を考古学的観点より解明するための研究を財団法人千葉県文化財センターに委託いたしました。

このセンターは本県における埋蔵文化財の調査・研究及び県民の文化財保護思想のかん養と普及を図り、地域文化の充実に寄与することを目的として設立された法人であり、優秀な人材によって運営されており、その機構は全国から注目されているところであります。このたび、センターの努力により既存の資料に最近の発掘調査により得られた資料を加えた分析がなされその成果として「房総における先土器文化の概要と変遷」「ポイントの発達とその意義」「先土器時代遺跡の構造について」というタイトルの研究紀要が上梓されたことは誠に喜ばしいことであります。

この研究紀要が文化財に関する理解を深めるとともに、古代文化研究のための学術的資料として活用されることを期待してやみません。

終りに、この研究紀要を刊行するに当たり現場での発掘調査をするかたわら、寸暇をおしんで研究に専念された調査研究員の方々並びに関係機関の各位に心からお礼申し上げます。

昭和 51 年 3 月

千葉県教育委員会教育長

今 井 正

目 次

序 文	千葉県教育委員会教育長 今 井 正
第 1 篇	概 説 —— 房総における先土器文化の概要と変遷 —— 鈴 木 道之助…………… 1
第 2 篇	ポイントの発達とその意義 鈴 木 道之助……………37
第 3 篇	先土器時代遺跡の構造について —— 特に木苧峠遺跡を中心として —— 古 内 茂……………51
あとがき	千葉県文化財センター常務理事 植 松 震

あ と が き

財団法人千葉県文化財センターは、昭和49年11月1日千葉県の出資により設立された法人であります。その主たる目的は、県内における埋蔵文化財の学術調査と研究事業であります。

発掘調査については、事業者の負担において実施しておりますが、昭和50年度研究事業については、千葉県教育委員会の委託事業として、当財団の職員が数か月の日時をかけて研究、執筆をした労作であります。

期間も比較的短かく、内容に及ばない点もあろうかと思いますが、研究第一号の成果としてここに発表できますことは、当財団にとって喜びに耐えないところであります。

今後も引続き研究事業の推進を図ってまいりたいと考えておりますので、今後とも関係各位の御指導をお願い申し上げます。

終りに今回の研究事業に当り、千葉県教育委員会から寄せられました数々の御指導、御好意に感謝申し上げる次第であります。

昭 和 51 年 3 月

財団法人 千葉県文化財センター

常務理事 植 松 震

研 究 紀 要 1

印 刷 昭 和 51 年 3 月 31 日

発 行 昭 和 51 年 3 月 31 日

編集・発行 財団法人 千葉県文化財センター

〒280 千葉市玄鼻 1-3-13

電話 (0472) 27-2293

印 刷 所 株式会社 太陽堂 印刷所